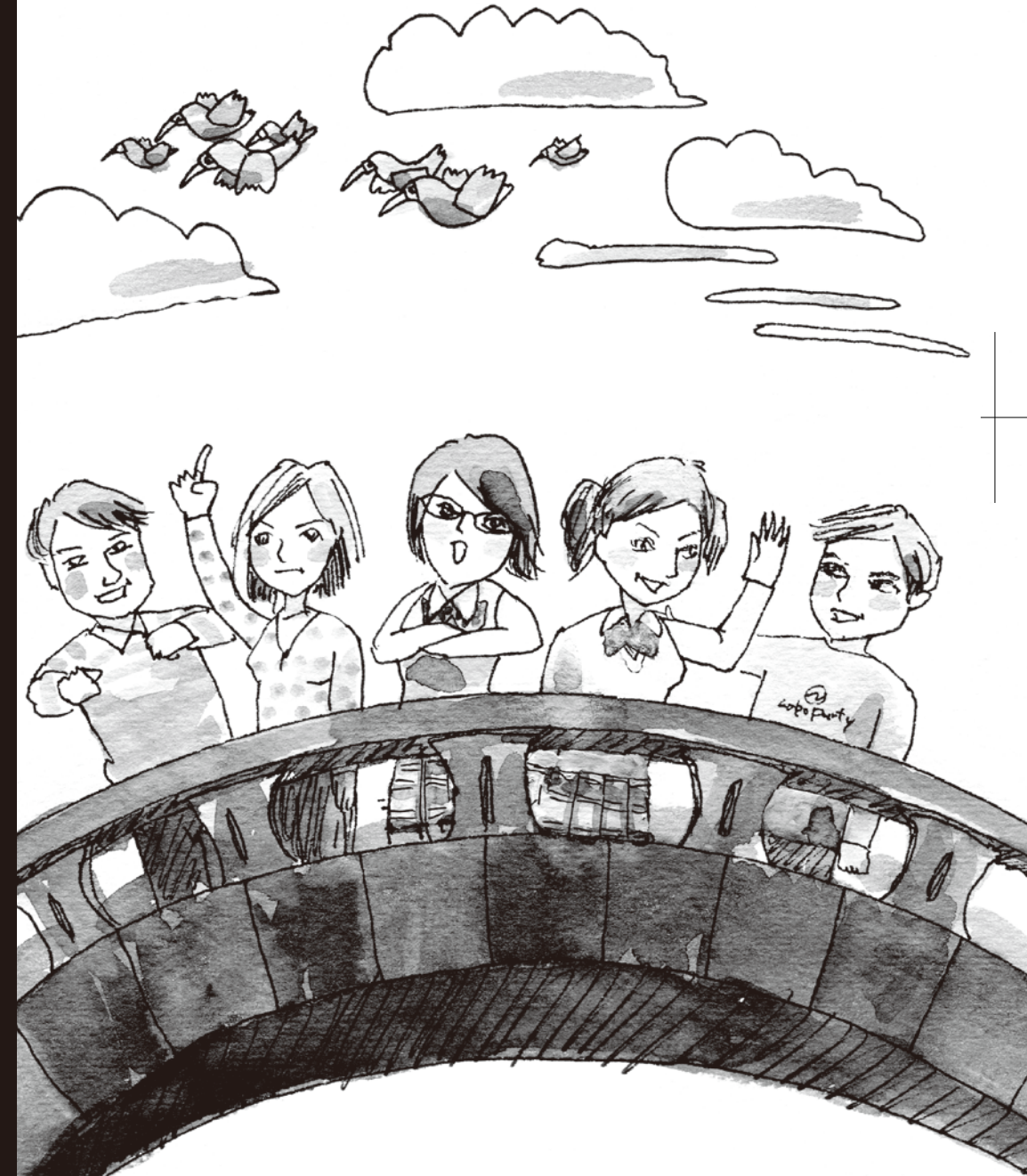


ラボ・ブリッジプログラム

ラボ・ブリッジプログラムは、
**テーマ活動、ラボ・ライブラリーでつちかかってきた英語力と「ラボ高校
 留学生に求められる英語力」とをつなぐ確かな橋（ブリッジ）です。**



受講生の皆さんの声より

- たまにめんどくさくなることがあった。だけど、学校でもならなくて、ていねいな解説がついていたので、自分で取り組むことができた。
- 「あっ、これライブラリーにあったなー」って思うところがあって、覚えやすかった。ラボ・ライブラリーの聴きこみやテーマ活動の経験が役立った。
- 取り組んでみて、英語の表現の幅がひろがり、とても力がついたと思う。
- 短期間でここまでできて、自分でもびっくり。
- 大好きなラボを通じて学ぶ英語はスツと体に入ってきた。
- 聞いたことのあるせりふが問題にできたので、解きやすかった。
- ブリッジプログラムが始まった頃は英語に対する絶望感を感じていましたが、添削

- のコメントなどにはげまされて、また自分に気合を入れることができました。本当にありがとうございました。今日からポストをチェックする楽しみがなくなることを悲しく思います。
- 文法の知識とラボ・ライブラリーの表現が結びついたことが一番よかった。ラボ・ライブラリー聴きこみの際、ブリッジプログラムを別の観点からみるきっかけにすれば中高生には有効になると思う。
(チューター)
- テーマ活動体験をもとにした例文は勉強していてとても楽しいです。テーマ活動やライブラリーの聴きこみをがんばってきたラボっ子への、ごほうびのようです。
(チューター)

ラボ高校生留学プログラムを目指すには

●参加基準(以下の結果と内容が基準になります)

・SLEP TEST(Secondary Level English Proficiency Test)

SLEP TESTは英語を母語としない学生が英語圏の中学、高校に入学する際に使用される英語力の診断テストです。英語の文法、語彙、読解、リスニングの力を総合的に診断します。

・学校の成績(英語を含む各課目の成績、出席状況等)

・面接/作文

●スケジュール

- 2011年4月～ ブリッジプログラム開始
- 7月 高校生留学プログラム申し込み
- 9月 第一次選考会
- 11月～12月 第二次選考会
- 2012年1月 選考結果発表
- 2月～ 手続き、合宿等の準備活動
- 8月～ アメリカ/カナダへ・学校生活スタート

2011 ブリッジプログラムの課題

演習 総合問題(提出) リスニング
 文法ワークショップ/読解Vocabulary Building
 『TOEIC Bridge 公式ガイドブック』

Lesson 主な学習範囲	総合問題(提出)	リスニング
Lesson1 ●動詞と時制・完了形	問題を解き、提出する	サンプル問題の学習
Lesson2 ●助動詞・態	問題を解き、提出する	Listening Practice Part I
Lesson3 ●不定詞・動名詞	問題を解き、提出する	Listening Practice Part II
Lesson4 ●動名詞・分詞	問題を解き、提出する	Listening Practice Part III
Lesson5 ●比較	問題を解き、提出する	Practice Test Part I
Lesson6 ●関係詞	問題を解き、提出する	Practice Test Part II
Lesson7 ●仮定法	問題を解き、提出する	Listening Practice
Lesson8 ●まとめ	問題を解き、提出する	Listening Practice

※各Lessonについて週3回(月に12回)とりくみます。全体で8Lesson、96回分になります。

テーマ活動体験とラボ・ライブラリー体験に自信をもってブリッジプログラムに参加しよう

高学年のみなさんは気づいていると思いますが、ラボ・ライブラリーには重要な英語の文法事項がほとんど網羅されています。そのライブラリーの英語を、みなさんは小さいころから、そうとは知らずに覚えて、何度も口にだしてきました。今、実際に自分の英語力を意識する年齢になり、今までの膨大なパーティ活動体験とラボ・ライブラリー体験を生かす大きなチャンスがやってきたのです。ブリッジプログラムはその名の通り、テーマ活動体験とラボ・ライブラリー体験を実際の英語力に結びつけるための橋(Bridge)です。英語の文法について新しいことを学ぶ場合でも、その文法事項にすでにいろいろな形で親しんでいることは、圧倒的にアドバンテージ(強み・有利)となります。また、みなさんはこれから新しい物語でいろいろな英語表現に出会いますが、それがどのような文法事項とかかわりがあるのか意識すれば、普段のラボ活動があなたにとってのブリッジプログラムになるのです。ブリッジプログラムに参加して、ラボ体験と英語力の間に確かなブリッジをかけましょう。

ラボ高校留学生に求められる英語力を目指す ブリッジプログラム・実施要項

1. プログラムの目的

ブリッジプログラムは、テーマ活動、ラボ・ライブラリーでつちかかってきた英語力とラボの高校留学生に求められる英語力とをつなぐ確かな橋(ブリッジ)です。受講生は「ラボ高校留学生に求められる英語力」の獲得を目指し、プログラムにそって学んでいきます。

2. 期間

2011年4月～12月

3. 募集人員

100名(予定)

4. 受講料

52,500円(資料・参考書代、通信費、トライアルテスト受験料・消費税を含む)
後日振込用紙を送付します。

5. 参加資格

- ・ラボ・パーティ会員
- ・2011年4月に中3、高1、高2であること
- ・本プログラムにしっかり取り組む意志があること

6. 申し込み・問合せ

所定の申込書を下記に郵送またはFAXする。
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階
財団法人ラボ国際交流センター／ブリッジプログラム係
電話:03-5324-3420 / Fax:03-5324-3427
E-mail: over_the_bridge@labo-global.co.jp

7. 締め切り

2011年4月1日(金)

※ブリッジプログラムは、国公立、私立の英語担当の先生の協力のもとに、問題作成、運営をすすめています。

プログラムの特長と毎週の取り組み

- “Day by Day” “Little by Little” “Step by Step”
- ブリッジプログラムの合い言葉は、「毎日、少しずつ、一步一步」です。
 - 基本は毎週3日、1回20分～30分です。遅れた場合でも、あせらず、少しずつ、一步一步すすめてください。年度内であれば、終了の時期が多少ずれてもかまいません。
 - 課題への取り組みでは、ラボ・ライブラリーのことばにたくさん出会います。ふだんからいろいろな物語を聴くようにしましょう。

プログラムの展開

- ・前月末にその月の4週間分の課題が送付されます。
- ・その課題に約4週間かけて取り組みます。
- ・4週目には提出課題があります。取り組みをした結果を財団に送付します。
- ・採点されたものが、受講者に返送されます。アドバイスを参考にさらに学習をすすめます。

課題到着

“Day by Day” “Little by Little” “Step by Step”
「毎日、少しずつ、一步一步か。」
いいことばだなあ、がんばるぞ!

The book I am reading now is very exciting.
(今読んでいる本はとてもおもしろい)

The book I am ...ときたので
びっくりしたけれど、
This is the house that Jack built.
(これは ジャックのたてたいえ)
とよくにているのでわかった

ripe : 熟した

They are not ripe. Wait another week or so.
まだうれておらん。もう一週間ばかり待ちなさい。(ためき)
Henry's got a nose like a ripe red plum!
ヘンリーのお鼻はまっかっかあーのスモモ! (すてきなワフ家)
二つとも大好きなお話しなので、思い出すなあ。

話してあげたのが過去のことで、ふしぎなことのかずかずを見たのはその前のことだから、過去完了形になるというわけだ。

返送された解答用紙を見ながら
~~on~~ the grass
→in the grass

“草の上”には“on the grass”ではなくて、“in the grass”なんだ。
まるごとそうおぼえるのではなく、なぜそうなるのかも考えないといけないのか。

He told stories of all the wonderful, strange things he had seen.
これまでに見た、めずらしい、ふしぎなことの数々を話してあげたのです。(幸福な王子)

プログラムの詳細 毎週の課題

・文法

課題は<Introduction/導入><Workshop/ワークショップ><Give it a Try/やってみよう>という構成になっており、この順番で取り組みます。
文法は苦手だという人がいますが、ことばを聞く、話す、読む、書くときには、ことばの使い方のルールはともたいてつです。
みなさんは英語について、たくさんの物語のなかでさまざまな単語や表現に親しんできました。ブリッジプログラムでは、テーマ活動体験、ラボ・ライブラリー体験を実際の英語力の向上に結びつけていきます。

・ボキャブラリービルディング

読解や例文のなかの重要なと思われる単語やイディオムをとりあげ、ラボ・ライブラリーのなかでどのように使われているかを学びます。

リスニング

『TOEIC Bridge 公式ガイド&問題集』のCDを用いて4月～8月の間に学習します。9月以降は別途問題を用意します。

・読解

エッセイや小説などさまざまなジャンルから出題されますが、そのなかで、たくさんの文法事項、イディオム、単語にであいます。

コースの選択

ブリッジプログラムにはA、B2つの学習歴別のコースがあります。
Aコース:英文法について学習がまだ十分に済んでいない人、あるいは英語に自信がない人を対象にしています。
※中3までの基本事項を中心に積み上げていきます。
Bコース:英文法のほとんどの領域の学習を済ませている人が対象です。復習しながら、よりレベルの高い課題にチャレンジしていきます。
※途中でA→B、B→Aのコースは変更可能です。

<参考テキスト> (受講生には配付されます)

- リスニング『TOEIC Bridge 公式ガイド&問題集』(国際ビジネスコミュニケーション協会刊)
 - 『よくわかる英文法』(学習研究社刊)
- 使いやすさを考えて、比較的ボリュームの少ないものを選んでいきます。参考書に十分カバーされていない項目は、「解説」でくわしく説明します。